

完 成 品 検 査 標 準

検査特性	検査項目	検査標準	検査規格	備考
経時	1. 錆、変色	目視及び顕微鏡チェック	48時間後、該当項目が発生しないこと	人工汗試験
	2. メッキ剥がれ			
機能	1. 運転検査	23°C±5にて、精度を測定する	クオーツ 月差±20秒 メカ 日差-10秒+30秒	
	2. 安全性	白紙にケース、ケース裏面を押し当て、そのまま2~3cmを移動する	白紙に切れ、削れが無いこと	0.2mm白紙使用 押し当て力：1kg
	4. 防水	エアリーク測定試験	3気圧をクリアすること	エアリーク試験機等を使用
	5. リューズ引き力	リューズを水平方向へ引く	3kg以内に引けること	引き秤
	6. リューズ押し込み力	リューズを水平方向へ押し込む	3kg以内に押し込めること	引き秤
	7. リューズ回転振れ	リューズを時計、反時計回りに回転させる	回転振れが0.15mm以内であること	
	8. ガラス抜き力	ガラスを垂直方向へ引っ張る	3kgの力で抜けないこと	専用吸盤治具
	9. 針	針の接触有無を確認	針すれの無いこと	
	10. 動作	リューズ操作、及びプッシャー操作によりムーブメントが正常に作動、停止すること		
	11. 機能	加減速のスタート、停止、帰零が正常に行われること		クロノグラフのみ
	12. 衝撃	厚さ3cm以上の桎板上に50cmの高さから落下させる	落下後、機能が全て正常であること	
	13. 秒針停止位置	12時00秒での秒針位置を確認	インデックスに30%秒針がかかっていること	
	14. 針取り付け位置	時針が3時、6時、9時、12時位置での、分針12時位置からのズレを確認	±3分以内	
	15. カンダ動作	リューズ一段引き状態で日送りを実施	スムーズに日が切り替わること	
	16. カンダ送り時刻	リューズ一段引き状態で日送りを実施	切り替わり時刻が12時±15分以内であること	
	17. カンダ位置	日送りを行い、カンダ-の位置を確認	カンダ-枠の中心に表示が位置していること	
	一般外観	1. リューズ隙	リューズとケースの隙を確認	仕様書で定めた規格内であること
2. 文字盤隙		文字盤とケース胴内の隙を確認	仕様書で定めた規格内であること	
3. 裏蓋隙		裏蓋とケースの隙を確認	仕様書で定めた規格内であること	
4. ガラス浮き		ガラスの傾きを確認	仕様書で定めた規格内であること	
5. 針傷、汚れ		蛍光灯下で汚れ、傷の有無を目視で確認	30cmの距離で認識できないこと	
6. 文字盤埃、汚れ		蛍光灯下で埃、傷の有無を目視で確認	限度見本の範囲内であること	
仕様外観	1. 仕様(形状)	仕様書通りの形状であること	製品仕様書参照	
	2. 仕様(色)	仕様書通りの色であること	製品仕様書参照	
<p>本書は、株式会社Knotがサービスを提供する腕時計Knot timepieceの製造基準である。 品質基準は改善が行われる度に、品質責任者の承認を得て更新されるものとする。</p>				
			第1版制定： 2014年8月31日	
			第2版改定： 2016年2月22日	